

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

平成24年度学生生活調査 調査票(大学院)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。

全国の大学・短期大学に在学されている方が対象となっており、無作為抽出の結果、あなたが選ばれましたので、お手数ですがぜひご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、個人を特定しない統計資料の形式のみで活用されます。また、本調査に資する目的以外の使用は行いません。

設問は(1)～(30)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。都道府県名や金額などは回答欄(□)に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。鉛筆、ボールペンなどご自由にお使いください。
- ③ 記入後は、配付した封筒に入れ、封をしてください。
- ④ 回答期限、提出先は大学の事務担当の方の指示に従ってください。

I. あなたご自身について

(1) 性別について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 男性 2. 女性

(2) 年齢を記入してください。

	歳
--	---

(3) どの課程に在籍していますか。あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 修士課程(修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期2年(医・歯・獣医を除く))
2. 博士課程(博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年、一貫制博士課程(医・歯・獣医))
3. 専門職学位課程(法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程)

(4) 現在、何学年ですか。あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 1学年 2. 2学年
3. 3学年 4. 4学年

[注] ・留年や休学などは数えません。
・一貫制博士課程の後期3年生の方は、博士課程の1年生と数えてください。

(5) 学科(専攻)の系統について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 文・法・政・経・商系 (文学、史学、哲学、法学、政治学、商学、経済学、社会学、教育学、牧養学、外国語学、その他これに分類される学科および専攻)
※教育学のうち教員養成を目的とする学科および専攻は、7の教員養成系とします
2. 理・工系 (数学、物理学、化学、工学、生物、地学、応用化学、応用理学、鉱山学、経営工学、工芸学、その他これに分類される学科および専攻)
3. 農系 (農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、林産学、獣医学、畜産学、水産学、その他これに分類される学科および専攻)
4. 薬系 (薬学、その他これに分類される学科および専攻)
5. 医・歯系 (医学、歯学の各学科および専攻)
6. 看護・保健系 (看護学、上記4・5以外の保健学に分類される学科および専攻)
7. 教員養成系 (教員養成を目的とする各学科および専攻) ※教育に分類されるが、教員養成を目的としない学科および専攻は、1の文・法・政・経・商系とします
8. 福祉系 (社会福祉学、介護福祉学、その他これに分類される学科および専攻)
9. 家政系 (家政学、食物学、被服学、住居学、児童学、その他これに分類される学科および専攻)
10. 芸術系 (芸術、デザイン、音楽、その他これに分類される学科および専攻)
11. スポーツ系 (体育学、その他これに分類される学科および専攻)
12. その他 (1～11番の分類に当てはまらない学科および専攻)

(6) 現在、住んでいるところについて、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 自宅 2. 学生寮(寄宿舎) 3. 下宿・アパート・その他

[注] 1. 自宅・・・家族と同居している場合(持家、借家、社宅等は問いません)。
2. 学生寮・・・大学直営に限らず、大学が借り上げている宿舎や公益法人等が経営する寄宿舎に居住している場合。
3. 下宿・アパート・その他・・・間借、学生マンション、親戚・知人宅を含み、修学の為に家族と別居している場合。

(7) 大学の所在地について都道府県名で記入してください。

--

(都・道・府・県)

[注] 通学しているキャンパスが複数ある場合は、おもに通学しているキャンパスの都道府県名を記入してください。

(8) 現在住んでいるところから大学までの片道の通学時間を分単位で記入してください。

--

分(片道)

[注] 通学しているキャンパスが複数ある場合は、おもに通学しているキャンパスの都道府県名を記入してください。

(9) ア)現在の住所 および イ)高校卒業時の住所をそれぞれ都道府県名で記入してください。

ア)現在の住所

--

(都・道・府・県)

イ)高校卒業時の住所

--

(都・道・府・県)

[注]イ)高校卒業時の住所について
 ① 海外の場合は国名または地域名を記入してください。
 ② 高等学校卒業程度認定試験などにより大学に入学した方は、入学直前に住んでいた都道府県名を記入してください。

(10) あなたには配偶者がいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. いる 2. いない

II. 学生生活の状況について

(11) アルバイトをしましたか。授業期間中と長期休暇中それぞれについて、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(最近1年間) ※TA・RAは除く

【授業期間中】

1. まったくしなかった 2. 不定期的にした 3. 週に1～2日した 4. 週に3日以上した

【長期休暇中】

1. まったくしなかった 2. 不定期的にした 3. 週に1～2日した 4. 週に3日以上した

(12) 設問(11)のいずれかで2～4と回答した方にお聞きします。そのアルバイトはどのような仕事でしたか。主なものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 家庭教師など (家庭教師、塾講師など)
2. 事務 (一般事務、データ入力、パソコン入力事務など)
3. 軽労働 (販売、接客、調理、清掃、警備、包装、配布など)
4. 重労働・危険作業 (土木工事、重量物運搬、プレス作業、建築の現場作業、高所の屋外作業など)
5. 特殊技能・その他 (通訳、翻訳、製図、プログラミング、インストラクター、その他1～4番の職種にあてはまらない職種)

(13) 設問(11)のいずれかで2～4と回答した方にお聞きします。アルバイト収入の主な使い道の一つを選び、その番号を○で囲んでください。(設問18参照)

- | | | | | |
|-------------|--------------|----------|-----------|---------|
| 1. 授業料 | 2. その他の学校納付金 | 3. 修学費 | 4. 課外活動費 | 5. 通学費 |
| 6. 食費 | 7. 住居・光熱費 | 8. 保健衛生費 | 9. 娯楽・嗜好費 | 10. 通信費 |
| 11. その他の日常費 | 12. 貯金 | | | |

[注] 設問(17)-(i)も忘れず記入してください。

(14) あなたの最近1週間(7日間)の生活時間について、各項目ごとに費やした時間の合計を記入してください。

項目	百の位	十の位	一の位	時間
1. 大学内での授業、研究、実習、実験	/	/	/	時間
2. 大学外での学習、研究	/	/	/	時間
3. TA	/	/	/	時間
4. RA	/	/	/	時間
5. アルバイト・定職 (TA、RAを除く)	/	/	/	時間
6. 就職活動	/	/	/	時間
7. 娯楽・交友	/	/	/	時間
8. 睡眠	/	/	/	時間
合計				時間

[注] 項目1～8の時間のみ記入し、その他の活動については記入する必要はありません。

※合計時間が168時間(24時間×7日)以下になるように、記入してください。

(15)あなたは現在通っている大学の学生支援体制に満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- | | | | | |
|----------|-------|---------|---------|-------|
| (a) 学習支援 | 4. 満足 | 3. やや満足 | 2. やや不満 | 1. 不満 |
| (b) 経済支援 | 4. 満足 | 3. やや満足 | 2. やや不満 | 1. 不満 |
| (c) 就職支援 | 4. 満足 | 3. やや満足 | 2. やや不満 | 1. 不満 |
| (d) 生活支援 | 4. 満足 | 3. やや満足 | 2. やや不満 | 1. 不満 |

(16)いまあなたに不安や悩みはありますか。それぞれの項目について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|----------|
| (a) 学業成績 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |
| (b) 進路や就職 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |
| (c) 人間関係 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |
| (d) 健康状態 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |
| (e) 性格 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |
| (f) 経済的問題 | 1. 全くない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. 大いにある |

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状況についてお聞きます。

(17)年間収入について

最近1年間（平成24年度入学者のみ平成24年4月～平成25年3月）の収入について、下記1・2のように算定し、その合計を記入してください。

- 毎月定例的な収入は、最近1ヶ月の12倍
- 特定時期あるいは臨時的な収入は、最近1年間の実際の収入額
例：「(a) 家庭からの給付」毎月30,000円ずつ送金を受け、その他に授業料(1年分700,000円)をあなたを経由せず、家庭が支払った場合
(30,000円×12ヶ月) + 700,000円 = 1,060,000円 → (a)に記入

ただし、24年度に入学された方については、24年4月から11月までの収入額は上記1・2のように算定し、24年12月から25年3月までの収入額は、推定した額とします。その合計額を記入してください。

※年額 千円未満は四捨五入、収入額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

年間収入	千万	百万	十万	万	千	円	
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円	← あなたが家庭から給付を受けた額および家庭があなたに代わって直接支払った額をすべて合計した金額を記入してください。 ※入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)のために受けた給付は、除いてください。 ※自宅通学者の場合は、家庭内でとる食事代などや家庭から一般的に支出されるもので、あなたの分として区分することがむずかしい費用にあてたものは除いてください。
(b) 日本学生支援機構の奨学金						000 円	← 日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けている方は、その年額を記入してください。
(c) 日本学術振興会の研究奨励金 (博士課程のみ)						000 円	← 大学院博士課程に在籍する方で、日本学術振興会から特別研究員として研究奨励金を受けている方は、その年額を記入してください。
(d) 大学からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円	← 大学独自の学内奨学金など、大学から給付される奨学金を受けている方は、その年額を記入してください。ただし、貸与制の奨学金は(f)に記入してください。
(e) 大学以外の機関による給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円	← 地方公共団体あるいは民間の奨学金事業団体などから受ける給付奨学金・奨励金を受けている方は、その年額を記入してください。ただし、貸与制の奨学金は(f)に記入してください。
(f) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く)						000 円	← 上記(b)日本学生支援機構の奨学金以外に、貸与制の奨学金などを受けている方は、その年額を記入してください。 ※条件付で返還が免除になる奨学金は「貸与制」ですので木欄に記入してください。
(g) ティーチングアシスタント(TA)						000 円	← 大学に雇用され、セミナーの指導、実験・実習の指導、試験の実施、学部学生の講義等を担当し、その対価として支給される給付金のことです。
(h) リサーチアシスタント(RA)						000 円	← 大学教員の研究補助者として雇用されるもので、学生の研究補助事業業務に対する対価として支給される給付金のことです。
(i) アルバイト((g)と(h)を除く)						000 円	← 次の(j)の説明による「定職」にあてはまらないもので、学生生活を送るうえで、学費または生活費を補うために働いて得た報酬のことです。税込額を記入してください。
(j) 定職収入						000 円	← 「定職」とは、社会的に一定の職業を持ち、その収入によってあなたもしくは家族の生活の全部または大部分を継続的に賄っている場合です。あなたの定職収入額(税込)を記入してください。
(k) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						000 円	← あなたの貯蓄などを取り崩して支出にあてた額や、あなたの資産から生ずる利子収入・配当収入などのうちあなたの分として充当した額、あなたが奨学金以外で借り入れをして今回調査期間中の支出に充当した額など、前述の(a)～(j)に該当しない全ての収入を記入してください。
※年間収入合計 (ア)						000 円	

※年間収入合計(ア)と年間支出合計(イ)は、同じになるようにしてください。

(18) 年間支出について

最近1か月の支出を基準として、「(17)年間収入」で説明した算定方法に準じて、「毎月定例的な支出」及び「特定時期あるいは臨時的な支出」を算定し、年間の支出額ができるだけ正確なものとなるようにしてください。

※年額 千円未満は四捨五入、支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

年間支出	千万	百万	十万	万	千	円	
(A) 授業料 (減免された方は減免後の金額)						000 円	← 平成24年度分の年額を記入してください。ただし、授業料を減額または免除されている方は、減免後、実際に納入する額を記入してください。また、全額免除された方は「千」の欄に「0」を記入してください。(減免申請中の場合は、所定の授業料の額を記入してください)
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円	← 授業料以外に学校に納めなければならない費用で、施設整備費、実験実習費、後援会費、保険料、学生自治会費などのことです。24年度分の年額を記入してください。なお、入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)は除いてください。
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費など含む)						000 円	← 上記(A)、(B)以外に学習のためにあなたが支出した経費です。 例)教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費・実習旅行費・実習を受けるために加入した保険料など。
(D) 課外活動費						000 円	← サークル活動や自治会活動など、正課教育以外のために支出した経費です。サークル会費・合宿費・遠征費・用具購入費・自治会費など、毎年納入するものをまとめて支払った場合も含まれます。ただし、あなたの個人的な趣味、娯楽、レクリエーションなどの費用は(I)に記入してください。
(E) 通学費						000 円	← 定期券代などの通学に要する経費です。自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費なども含まれます。
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円	← 自宅通学者…外食した時の経費だけを記入してください。 自宅外通学者…外食、自炊のための材料費、食事付きの下宿などで下宿に食費として支払う額の合計額を記入してください。ただし、間食代やし好品のものは除いてください。
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円	← 自宅通学者…0を記入してください。 自宅外通学者…家主などに支払う部屋代(管理費、共益費など含む)、光熱水費、暖房費などの合計額を記入してください。なお、食事付きの下宿で食費などと一括して支払っている場合でも、住居・光熱水費分を引出し、記入してください。
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円	← 診療代・薬代・理髪美容代・化粧品代・銭湯代などです。
(I) 娯楽・嗜好費						000 円	← 趣味、レクリエーションなどの費用および酒、タバコ、間食代などです。
(J) 通信費 (携帯電話、電話代など)						000 円	
(K) その他の日常費						000 円	← 被服・帰省のための交通費、社会保険料など上記(A)～(J)に含まれない日常的な経費を、すべて記入してください。
(L) 貯金						000 円	
※年間支出合計 (イ)						000 円	

※年間収入合計(ア)と年間支出合計(イ)は、同じになるようにしてください。

(19) 家庭からの給付と修学の関係について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 家庭からの給付のみで修学可能
2. 家庭からの給付のみでは修学不自由
3. 家庭からの給付のみでは修学継続困難
4. 家庭からの給付はない

(20) 大学の授業料減免制度を受けていますか。あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(平成24年度前期分について)

1. 全額を受けた
2. 半額以上全額未満を受けた
3. 半額未満を受けた
4. 申請したが不許可になった
5. 申請しなかった
6. 大学に減免制度がなかった

(21) 日本学生支援機構の奨学金の受給について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(最近1年間)

1. 第一種奨学金(無利子)を受けた ⇒ 設問(17)-(b)も記入したことを確認してください
2. 第二種奨学金(有利子)を受けた ⇒ 設問(17)-(b)も記入したことを確認してください
3. 第一種と第二種の併用を受けた ⇒ 設問(17)-(b)も記入したことを確認してください
4. 申請したが不採用になった
5. 希望するが申請しなかった
6. 必要なかった

(22) 設問(21)で5と回答した方にお聞きします。申請しなかった理由を一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 成績基準が合わなかった
2. 収入基準が合わなかった
3. 申請手続きが複雑なのでやめた
4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた
5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた
6. その他

(23) 日本学生支援機構以外の奨学金の受給について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(最近1年間)

1. 給付奨学金を受けた ⇒ 設問(17)-(c)(d)(e)の該当箇所も記入したことを確認してください
2. 貸与奨学金を受けた ⇒ 設問(17)-(f)も記入したことを確認してください
3. 給付・貸与の両方を受けた ⇒ 設問(17)-(c)(d)(e)の該当箇所と(f)も記入したことを確認してください
4. 申請したが不採用になった
5. 希望するが申請しなかった
6. 必要なかった

(24) 平成24年度に入学した方のみにお聞きします。入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)の金額を記入してください。

千万	百万	十万	万	千	円
					000 円

IV. 家庭の状況について

(25) あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)を記入してください。

ア) 主たる家計支持者

億	千万	百万	十万	万

万円

【万円未満四捨五入】

1) 所得の総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学の方が得た所得は除いてください。

イ) その他の方

億	千万	百万	十万	万

万円

【万円未満四捨五入】

2) あなたが結婚などにより独立の家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。

3) 所得がない場合は「0」を記入してください。

【注】 この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。次の①～④所得の種類別に調べた額を合計した金額を記入してください。なお、金額の計算にあたってはすべて税込額で行ってください。

- ① 事業所得……個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得でその年中の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額。
(農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。)
- ② 給与所得……俸給、給料、賃金、歳費、賞与など労務または役務の対価として受けた総額。
- ③ 資産所得……利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得の総額。
- ④ その他の所得……恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの総額とし、退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金には計算しないでください。

このあとの6ページも忘れずにご記入ください

(26) 主たる家計支持者について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 父 2. 母 3. あなた自身 4. その他の方

(27) 主たる家計支持者の年齢について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 44歳以下 2. 45歳～54歳 3. 55歳以上

(28) 主たる家計支持者の世帯区分について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(下表参照)

1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯
4. 農林・水産業世帯 5. その他の世帯

世帯区分	世帯区分内訳	基準	内容例示
1 勤労者世帯	民間職員 官公職員	民間の会社、商店、病院、学校、工場などや官公庁または官公立の病院、学校などに勤め、主として事務的、技術的または管理的な仕事に従事している者 なお、「3」の法人経営者に分類する者は除く。	一般事務員、課長、所長、検事、判事、船長、高級船員、駅長、学校長、教員、警察官、消防士、現場監督、新聞記者、漢教師、工場長、研究者、機械技術者、電気技術者、大学助手、電話交換手、通信士、撮影スタッフ、勤務医、看護師、外交員、デザイナー、保健師、講師、ラジオ・テレビアナウンサー、通訳、図書館司書、SE、プログラマー、速記者など
	労務作業者	民間または官公庁に長期間雇用され、主として肉体・技能労働に従事している者	販売店員、配膳人、工事人、印刷工、電車運転士、自動車運転手、普通船員、車掌、配達員、集金人、警備員、守衛、用務員、清掃員、新聞配達人、左官、とび職、理容師など
2 個人営業世帯	商人、職人	独立して商品の製造、加工、販売またはサービスを提供する業主	菓子店主、小売店主、写真店主、書店主、理髪店主、行商、大工(個人営業)、植木職、アパート経営者、個人タクシー運転手など
	個人経営者	独立して個人組織で商業、工業、サービス業などを経営してその企画管理に従事する者	商店主、工場主、私立病院経営者、私立学校経営者、不動産経営者、食堂経営者など
3 自由業世帯 法人経営・自由業	法人経営者	法人組織(合名、合資、有限、株式会社など)で、家族でない使用人5人以上を雇用する会社、団体などの役員。なお、「1」に分類される者でも、程度の高い企画管理、行政事務または監督事務に従事する者は含める。	社長、会長、取締役、監査役、理事、銀行頭取、相談役、政務官、事務次官、局長、総裁、知事、副知事、市長、区長、町長、副市長、教育委員など
	自由業者	個人で自分の専門の技能や知識を内容とする仕事に従事する者。ただし「1」の分類にあてはまらない者	弁護士、公認会計士、開業医、助産師、マッサージ師、僧侶、神職、画家、著述家、作曲家、評論家、コンサルタントなど
4 水産 農林 世帯 農林・水産業	農業・林業・海産水産業従事者	独立して農作物の栽培・収穫、養蚕・家畜・家さん・その他の動物の飼育、林木の育成・伐採・搬出、水産動植物採捕・採取・養殖などの仕事に従事している者	農耕作業者、養蚕作業者、養畜作業者、伐木者、育林作業者、漁労作業者、海藻・貝採取作業者、漁船要員、水産養殖作業者など
5 その他の世帯	その他	「1」～「4」の分類にあてはまらない者	議員、芸能人(歌手、俳優など)、モデル、職業スポーツ家(野球選手、競輪選手、力士など)、内職者など
	無職	職業のない者	年金生活者、失業者、主婦など

(29) あなた以外の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)に在学する兄弟姉妹の人数を記入してください。(定職を持つ方は含めません)

人

[注] (29)(30)「定職」とは、社会的に一定の職業を持ち、その収入によって家族の生活の全部、または大部分を継続的に賄っている場合をいいます。

(30) あなたご自身についてお聞きします。定職を持っている方はその職業について、あてはまるものを一つ選び、その番号を○で囲んでください。(設問28参照)

1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯
4. 農林・水産業世帯 5. その他の世帯 6. 定職を持っていない

[注] 1～5のいずれかを選択した場合 ⇒ 設問(17)・(j)も記入したことを確認してください。



ご協力ありがとうございました。